

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考											
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価						目標①		目標②								
				指標	実績数値	指標	実績数値	自己評価	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②			満足度	補足	目標①	目標②							
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導企業数228社 ・巡回窓口指導案件数512件 ・課題解決提案数17件 ・経営準備承認件数4件 ・経営力向上計画承認件数3件（変更を含む） ・先端設備導入計画承認件数1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導案件数 (達成度 78.8 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 85.0 %)	職員の資質体面に伴い、巡回窓口指導案件数や課題解決提案件数の目標をクリアできなかったが、一つ一つの支援については中身を充実させることができ、それが、経営革新計画等の承認件数につながった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	来年度も支援内容の充実を図るべく、経営革新計画・経営力向上計画などの策定支援に力を入れていく方針である。	○							
				目標数値	650	実績数値	512									目標数値	20			実績数値	17	必要性	現行どおり	現行どおり	実施方法①	実施方法②
				目標達成度	B	目標達成度	B									必要性	A			現行どおり	現行どおり	必要性	A	現行どおり	現行どおり	必要性
創業支援事業	新規創業者は、創業に伴う、知識・経験などが不足しているようなケースも多くみられる。そのような創業者の創業計画の策定や資金計画支援などの事業の立ち上げに伴う支援はもとより、創業後、事業が軌道に乗るまでに廃業してしまう状況があることを踏まえて、創業者に寄り添った形でバックアップできるような支援体制を整えていく。	・3市2町（犬山・江南・岩倉・大口・扶桑）創業支援セミナー時期 平成30年10月27日（土）場所 江南市民文化会館実績 9名 ・創業ハズオン支援時期 随時場所 商工会窓口および事業所実績 創業支援者数8名、内、3名が創業に至る	創業者	指標	創業セミナー参加者数 (達成度 60.0 %)	指標	創業支援実績 (達成度 133.3 %)	地域の創業者に対して体系的に経営に関する知識を提供することができた。また、その後のフォローアップを行うことで、実際の事業の立ち上げまでを継続的に支援することができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	創業セミナー・創業ハズオン支援とともに本年度並み程度維持していく。取り組み方法についても現行通りとする。	○							
				目標数値	15	実績数値	9									目標数値	6			実績数値	8	必要性	現行どおり	現行どおり	実施方法①	実施方法②
				目標達成度	B	目標達成度	B									必要性	A			現行どおり	現行どおり	必要性	A	現行どおり	現行どおり	必要性
講習会開催事業	事業者を取り巻く経営環境、社会環境の変化に対応してもらうべく、新たな知識を習得する場所を提供する。特に、施策情報の提供などを強化することで、事業者の新たな取り組みへの支援を強化する。	講習会開催数及び受講予定者数 ・集団講習会 4回 54人 ・個別講習会 8回 149人計 203人	小規模事業者	指標	集団講習会参加者数 (達成度 236.0 %)	指標	個別指導会参加者数 (達成度 102.9 %)	講習会事業に参加することにより、経営に関する最新のトピックスを事業者に提供することができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	来年度も税務対策に関連した内容を中心に集団・個別ともに現行どおりの事業を実施していく。集団の講習会については実績に基づき目標を上げる。	○							
				目標数値	25	実績数値	59									目標数値	140			実績数値	144	必要性	上げる	現行どおり	実施方法①	実施方法②
				目標達成度	A	目標達成度	A									必要性	A			現行どおり	現行どおり	必要性	A	現行どおり	現行どおり	必要性
雇用促進事業	若年者に対しては、自己の適正や就業経験などに成した職業選択並びに就職に関する知識や能力の向上を図る機会を提供する必要があることから、地元企業の紹介と各企業の人材確保をサポートする。行政、商工会、商工会議所が主体となって開催する企業合同説明会を開催。イベントにあわせて若年者を対象に就職に関する個人相談会、就職支援セミナー、職業適性診断等の事業を実施し、求職活動中の若年者の職業人生設計やキャリア形成を支援することを目的とする。	・大口・扶桑合同就職フェア時期 平成30年4月26日（木）場所 扶桑町中央公民館実績 セミナー参加者数39人参加事業者数37社 ・3市2町（犬山・江南・岩倉・大口・扶桑）合同就職フェア時期 平成30年9月12日（水）場所 大山国際観光センターフロイデ実績 セミナー参加者数64人参加事業者数37社 セミナー参加者 計103人参加事業者数 計74社	若年求職者	指標	セミナー参加者延人数 (達成度 51.5 %)	指標	参加延事業者数 (達成度 123.3 %)	地元企業の人材確保をサポートすることができ、若年者に対しても企業概要・採用等に関する情報が得られ、求職活動中の若年者の職業人生設計やキャリア形成を支援につながった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	来年度についても、昨年同様、春に大口町・扶桑町との就職フェア、秋には、3市2町（犬山・江南・岩倉・大口・扶桑）の就職フェアを実施する予定である。	○							
				目標数値	200	実績数値	103									目標数値	60			実績数値	74	必要性	現行どおり	現行どおり	実施方法①	実施方法②
				目標達成度	B	目標達成度	B									必要性	A			現行どおり	現行どおり	必要性	A	現行どおり	現行どおり	必要性
共同販売促進事業	事業者の集まりであるという利点を生かし、共同で事業を展開することにより、広く消費者を集めて、消費の喚起を図り、面的な広がりを実現する。	・プレミアム商品券事業時期 売り出し 9月使用期間 10月～12月実績 参加事業者数242社・スタンプラリー事業※平成30年度は中止	会員企業及び地域の消費者	指標	商品券参加事業者数 (達成度 96.8 %)	指標	スタンプラリー参加事業者数 (達成度 0.0 %)	プレミアム商品券事業は、大型店の力も借りながら、扶桑町における商店を面としてPRすることにより、地域内における消費の循環を促すことができた。一方、スタンプラリー事業については参加店の減少により、中止となった。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	プレミアム商品券事業については、秋頃に実施を予定。スタンプラリーは参加店舗の高齢化や廃業に伴う減少を鑑み、廃止する。	○							
				目標数値	250	実績数値	242									目標数値	35			実績数値	0	必要性	現行どおり	廃止	実施方法①	実施方法②
				目標達成度	C	目標達成度	C									必要性	A			現行どおり	現行どおり	必要性	A	現行どおり	現行どおり	必要性
IT促進事業	情報通信技術を活用して、会員企業にとって有益な経営情報を発信したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工会の活性化に寄与すること。外部に発信した情報発信内容や事業所のPR活動を行う。	・ホームページによる情報発信内容 扶桑町商工会の会員情報やイベント等について情報発信実績 HPアクセス数2,664件 ・動画を活用した情報発信内容 YouTubeによるイベントの様子や事業所のPR動画配信実績 動画視聴者数500件	会員企業及びホームページ閲覧者	指標	ホームページアクセス数 (達成度 88.8 %)	指標	動画視聴者数 (達成度 27.8 %)	直接、商工会に足を運びにくい事業者に対しての情報発信を図られた。また、その他事業者に対してはWeb上で情報を発信することにより事業者の利便性が向上した。その他、地域関係員に対して紹介のPRにつながった。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	HP・動画閲覧数ともに現行どおり行う。動画のアップ数を増やすことでテコ入れを図っていく。	○							
				目標数値	3,000	実績数値	2,664									目標数値	1,800			実績数値	500	必要性	現行どおり	現行どおり	実施方法①	実施方法②
				目標達成度	C	目標達成度	C									必要性	A			現行どおり	現行どおり	必要性	A	現行どおり	現行どおり	必要性
産業界指導事業	柏森発展会・扶桑発展会の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となる。ひいては扶桑町内の商業の活性化に資することを目的とする。	・発展会支援事業内容 季節ごとに行う販売促進イベントの支援実績 柏森発展会員数67名扶桑発展会員数95名	柏森発展会・扶桑発展会	指標	柏森発展会会員数 (達成度 95.7 %)	指標	扶桑発展会会員数 (達成度 86.4 %)	地域の商業の活性化を担う商業団体を支援することにより、地域経済の活性化を促すことができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標数値・実施方法ともに現行どおり行う。今後もイベントなどの支援を継続していく。また、ランチチャイなどの動員を促進していく。	○							
				目標数値	70	実績数値	67									目標数値	110			実績数値	95	必要性	現行どおり	現行どおり	実施方法①	実施方法②
				目標達成度	B	目標達成度	B									必要性	A			現行どおり	現行どおり	必要性	A	現行どおり	現行どおり	必要性
税務関連団体指導事業	小牧青色申告会扶桑連絡協議会・小牧法人会扶桑支部の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、適切な納税を推進するとともに、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展の一助となる。	・税務関連団体支援事業内容 7月、9月、11月、1月、2月に行う納税推進事業。実績 法人会会員数180名青申会会員数139名	小牧青色申告会扶桑連絡協議会・小牧法人会扶桑支部	指標	小牧法人会扶桑支部会員数 (達成度 100.0 %)	指標	青申会扶桑連絡協議会会員数 (達成度 86.9 %)	地域の商工業者が加入する小牧青色申告会扶桑連絡協議会および小牧法人会扶桑支部の支援をとおして、納税に対する啓蒙活動を行うことができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	現状の状況なども踏まえて、青色申告会については目標値を引き下げる。今後も納税推進事業などの支援を継続していく。未加入事業所への動員を推進していく。	○							
				目標数値	180	実績数値	180									目標数値	160			実績数値	139	必要性	現行どおり	下げる	実施方法①	実施方法②
				目標達成度	B	目標達成度	B									必要性	A			現行どおり	現行どおり	必要性	A	現行どおり	現行どおり	必要性

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価												備考
				目標①		目標②		得られた効果		A B C D評価				今後の展開・改善点等		
				指標	実績	指標	実績	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	
記帳継続指導事業	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数47人 ・指導証日数266日 ・指導回数659回	小規模事業者	指標 記帳指導事業者数 (達成度 104.4 %)	指標 (達成度 %)	小規模事業者の記帳能力の向上を図るとともに、小規模事業者が正しい税務申告を行うように指導することで、税務行政の円滑な運営に寄与した。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	記帳指導職員とパートの記帳指導員の2名体制で、今年度と同様に指導を行っている。	
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康維持増進事業の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・共済促進事業 内容 共済事業の普及活動 実績 小規模企業共済85名 創設防止共済7名 中小企業退職金共済1名 特定退職金共済39名 中小企業共済219名 生命共済12名 計 363名 ・健康維持増進事業 内容 経営者、従業員の健康維持増進事業 実績 参加者数62名	会員企業の事業主及び従業員	指標 各種共済加入者数 (達成度 100.8 %)	指標 歩け歩け大会参加者数 (達成度 103.3 %)	共済事業については、小規模事業者の方が一に備えた保障としての役割を果たせた。歩け歩け大会については、小規模事業者やその従業員に対する福利厚生としての便益に資することができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 上げる	各種共済・歩け歩け大会ともに目標数値を上回ることができた。歩け歩け大会については、目標を上げていく。	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他の労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険事務代行事業 内容 労働保険料の事務代行 実績 委託事業所22社	労働保険事務組合員	指標 事務組合委託事業者数 (達成度 110.0 %)	指標 (達成度 %)	労働行政と協力を図りながら、事務組合員の福利厚生の一環としての労災保険、雇用保険の事務を行うことにより社会保険事務の適正化に寄与しつつ労働環境の整備ができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標② 実施方法②	実績にもとづき目標数値について上げていく。労働保険は、従業員がいる場合に強制加入であることや労働保険事務組合のメリット等の情報の提供により新規事務委託事業所を確保していく。	
地域産業祭事業	扶桑町主催ふそう町長まつり事業に伴い商工会員事業所による商品即売会と地域特産品の販売及び地元製造事業者による工業製品の展示会等を実施し商工業の振興と地元町民の心のふれあいを深め地域活性化に寄与することを目的とする。	・ふそう町民祭り企画事業 時期 平成30年10月20日 実績 参加事業者数28社	会員企業及び地域住民	指標 参加事業者数 (達成度 112.0 %)	指標 (達成度 %)	地元商工業者と町民の間において心の交流が図られ、事業者と住民との間の理解が進んだ。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 B	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	地域住民と事業者の交流の場としての役割を維持すべく、参加企業の募集やイベント内容の強化を図っていく。	
青年・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	・青年部事業 内容 大口町金助祭・ふそう夏祭・ふそう町民祭への参加、経営講習会の実施、支部活動への参加 実績 事業参加者数18名 青年部員数20名 ・女性部事業 内容 視察研修、ふそう町民祭への参加 実績 事業参加者数29名 女性部員数33名	青年部員及び女性部員	指標 青年部部員数 (達成度 116.0 %)	指標 女性部部員数 (達成度 77.8 %)	地域の青年部・女性部間のネットワークを構築し、同じ団体の一員であるという一体感を醸成するとともにイベントを行うときの団結力を形成する。また、地域イベントに出展することで活動のPRにもつながった。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 下げる	事業後継者や事業の共同経営者としての資質向上を図るために研修活動や地域貢献を中心とした活動を実施していく。特に女性部については、地域活性化活動の一環として「おもてなし交流事業」を本格化させていく。	
セミナー事業（国補助金を活用）	経営発達支援計画にもとづき、金融機関と合同によるセミナー事業を実施する。事業計画策定に繋げる刺激策を充実させることにより、経営計画の策定事業者のバイを増やしていく。	・セミナー事業 セミナー 6回 163人	中小事業者	指標 参加者延人数 (達成度 108.7 %)	指標 (達成度 %)	経営発達支援計画に沿った形で、事業者の経営力の向上に資するため情報提供を行うことができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	丹羽金融協会との共同事業。偶数月の計6回、テーマを変えて事業の実施を行う。	
女性向実業型創業セミナー事業（国補助金を活用）	経営発達支援計画にもとづき、創業者に必要な知識の提供から実際の運営までをサポートする。1ヵ月程度座学のセミナーを実施した。その後、扶桑町内の空き店舗などを活用して実地における創業実習を行う。	・セミナー事業（全6回） 参加者数 13名 ・創業実習事業（全2回） 参加者数 4名	女性創業者・創業者希望者	指標 参加者人数 (達成度 130.0 %)	指標 (達成度 %)	経営発達支援計画に沿った形で、地域内における女性創業者に対して創業のためのインキュベーション機能としての役割を果たすことができた。	総合評価 A	事業実施評価 A	自己評価 A	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	本年度実施した女性向け実習型創業塾を来年も同時期に開催する予定である。	
展示会出展事業（国補助金を活用）	経営発達支援計画にもと、扶桑町内における製造業を中心に技術力や商品力のPRの機会として展示会への出展を行うことで、販路の拡大を支援する。	・メッセナゴヤ2018への出展 日時 11月7日～10日 参加者数 共同出展4社 独自出展1社	中小事業者	指標 参加企業数 (達成度 83.3 %)	指標 (達成度 %)	経営発達支援計画に沿った形で、地域内における地域資源を有効に活用している事業者や独自の技術を持つ事業者のPRの場として役に立った。	総合評価 A	事業実施評価 B	自己評価 B	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法②	本年度実施したメッセナゴヤ出展事業を来年も同時期に行う予定である。	
若手後継者等育成事業	地域の小規模事業者において、事業の継承・発展には次期経営者となる若手後継者の資質向上が必要不可欠である。本年度は、会社の基本的な行動を明らかにするための経営計画の策定に関するセミナー（全3回）と若手後継者のリーダーシップを養成するためのリーダーシップスキルアップセミナーを1回実施する。	・経営計画策定セミナー 日時 5月23日（水）、6月19日（火）、7月18日（水） 全3回 参加者数 3回延15名 ・決算書の読み方セミナー 日時 12月7日（金） 参加者数 13名	若手後継者	指標 経営計画策定セミナー参加者延人数 (達成度 33.3 %)	指標 決算書の読み方セミナー (達成度 86.7 %)	今後、事業を引き継いで各々の企業の経営力を高めるに不可欠な事業後継者の資質向上の機会として役に立った。	総合評価 B	事業実施評価 C	自己評価 C	調査結果 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標② 実施方法②	来年度はより実践的な内容への変更を検討している。連続シリーズでの経営計画策定セミナーと単発の資質向上セミナーを計画している。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。